

鉄道プロジェクトの評価手法マニュアル2012の目次(案)

<改訂方針>

- ・ 災害時に顕在化する効果、列車遅延・輸送障害対策、地域鉄道の利便性向上に係る事業の評価手法等重点課題の検討結果を追加。
- ・ 「総合的評価」の理解促進のため、第1編に「総合的評価」の位置づけの解説を追加するとともに、第2編及び第3編の実施要領の記載の順番を改め、最初に「評価の全体像」を総括表を用いて説明。また、「事業効率」の前に「事業による効果・影響」を記載。さらに第4編において、「計算例」の前に「評価例」を記載。
- ・ 読みやすさを向上させるため、現行マニュアルで1. 3及び2. 3に記載していた費用便益分析の詳細な解説を第5編に移動。また、用語集を追加。

2005マニュアル			2012マニュアル(案)			重点課題の取扱い等
第1編	総説		第1編	総説		
	第1章	本マニュアルの概要		第1章	本マニュアルの概要	
		1.1 本マニュアルのねらい			1.1 本マニュアルのねらい	「総合的評価」の位置づけの解説を追加
		1.2 本マニュアルの構成			1.2 本マニュアルの構成	
		1.3 本マニュアルの評価対象事業			1.3 本マニュアルの評価対象事業	
	第2章	評価の体系		第2章	評価の体系	
		2.1 新規事業採択時評価の体系			2.1 新規事業採択時評価の体系	
		2.2 再評価の体系			2.2 再評価の体系	
		2.3 事後評価の体系			2.3 事後評価の体系	
第2編	実施要領Ⅰ	新規事業採択時評価・再評価	第2編	実施要領Ⅰ	新規事業採択時評価・再評価	
	第1章	鉄道新線整備事業・既設線改良事業		第1章	鉄道新線整備事業・既設線改良事業	
		1.1 評価対象事業の概要			1.1 評価対象事業の概要	
					1.2 評価の全体像(総括表の解説)	総括表に総合的評価の欄を追加。 公的資金の投入に関する投資効率性指標を追加。
		1.2 事業内容の整理			1.3 事業内容の整理	
					1.4 事業による効果・影響	災害時に顕在化する効果、列車遅延・輸送障害対策(線路設備等の改良)、地域鉄道の利便性向上に係る事業、福祉や社会保障の面からの評価手法を追加。
		1.3 事業効率			1.5 事業効率	列車遅延・輸送障害対策(線路設備等の改良)、地域鉄道の利便性向上に係る事業、競合交通機関における収益変化、存在効果、運行頻度の評価手法を追加。
		1.4 事業による効果・影響				
		1.5 実施環境			1.6 実施環境	
		1.6 結果のとりまとめ			1.7 結果のとりまとめ	
	第2章	鉄道駅の改良事業		第2章	鉄道駅の改良事業	
		2.1 評価対象事業の概要			2.1 評価対象事業の概要	
					2.2 評価の全体像(総括表の解説)	
		2.2 事業内容の整理			2.3 事業内容の整理	
					2.4 事業による効果・影響	列車遅延・輸送障害対策(駅改良)、福祉や社会保障の面からの評価手法を追加。
		2.3 事業効率			2.5 事業効率	列車遅延・輸送障害対策(駅改良)、存在効果の評価手法を追加。
		2.4 事業による効果・影響				
		2.5 実施環境			2.6 実施環境	
		2.6 結果のとりまとめ			2.7 結果のとりまとめ	
					第3章 その他	バリアフリー施設、ホームドアの整備について加筆。
					3.1 バリアフリー施設整備	
					3.2 ホームドア整備	
第3編	実施要領Ⅱ	事後評価	第3編	実施要領Ⅱ	事後評価	
	第1章	事後評価の基本的考え方		第1章	事後評価の基本的考え方	
	第2章	事後評価手法		第2章	事後評価手法	
		2.1 評価における基礎要因の変化			2.1 評価の全体像(総括表の解説)	
		2.2 事業効率および事業による効果の発現状況			2.2 評価における基礎要因の変化	
		2.3 社会経済情勢の変化			2.3 事業効率および事業による効果の発現状況	
		2.4 改善措置の必要性			2.4 社会経済情勢の変化	
		2.5 今後の事後評価の必要性			2.5 改善措置の必要性	
		2.6 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性			2.6 今後の事後評価の必要性	
		2.7 結果のとりまとめ			2.7 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性	
					2.8 結果のとりまとめ	
第4編	計算例および評価例		第4編	評価例及び計算例		
	第1章	本編の概要		第1章	本編の概要	
	第2章	計算例		第2章	評価例	
		2.1 都市内鉄道整備事業の計算例			2.1 都市内鉄道整備事業	
		2.2 鉄道駅の改良事業の計算例			2.2 鉄道駅の改良事業	
					2.3 地域鉄道の利便性向上に係る事業	
					2.4 列車遅延・輸送障害対策	
	第3章	評価例		第3章	計算例	
		3.1 対象事業の概要			3.1 都市内鉄道整備事業	
		3.2 総括表の整理例			3.2 鉄道駅の改良事業	
					3.3 地域鉄道の利便性向上に係る事業	
					3.4 列車遅延・輸送障害対策	
				第5編	解説	構成は2編、3編と同じ。詳細はこちらで整理。
第5編	解説		第6編	参考		
	第1章	本編の概要		第1章	本編の概要	重点課題にかかる事例、論文等は参考として整理。
	第2章	総合的評価手法		第2章	総合的評価手法	
		2.1 基本的考え方			2.1 基本的考え方	
		2.2 評価手法			2.2 評価手法	
	第3章	事業マネジメントの視点からの評価		第3章	事業マネジメントの視点からの評価	
	第4章	費用便益分析		第4章	費用便益分析	存廃の評価に関する記載を追加。
		4.1 費用便益分析の前提			4.1 費用便益分析の前提	
		4.2 利用者便益の			4.2 利用者便益の分析	
		4.3 環境改善等便益			4.3 環境改善等便益	
	第5章	事業による効果・影響の分析手法		第5章	事業による効果・影響の分析手法	
		5.1 地域経済効果の分析手法			5.1 地域経済効果の分析手法	
		5.2 CVMによる支払意思額の把握			5.2 CVMによる支払意思額の把握	
				第7編	用語集	